

適正計量管理事業所報告書

年 月 日

奈良県知事 殿

報告者 住所
氏名又は名称
及び法人にあっては
代表者の氏名

計量法施行規則第 9 6 条の規定により、次のとおり報告します。

年度	事業所名	事業所の所在地			整理番号		
特定計量器の種類	使用する特定計量器の数	計量法第128条第1号の規定による検査を行った特定計量器		計量証明に使用する特定計量器			備考
		検査を行った特定計量器の数	合格しなかった特定計量器の数	数	計量法第116条第2項の規定による検査を行った特定計量器の数	同検査に合格しなかった特定計量器の数	

備考

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 整理番号の欄は記入しないこと。
- 3 特定計量器の種類は、第 1 0 3 条の規定による経済産業大臣が別に定める分類によること。
- 4 計量証明に使用する特定計量器の欄は、計量証明事業者であって計量法第 1 2 7 条第 1 項の指定を受けた者のみが記入すること。

適正計量管理事業所報告書記入要領

1. 報告者欄の記入

報告者の欄には原則として事業所の本社の住所、名称、代表者氏名（個人の場合は氏名）を記入して下さい。

2. 年度欄の記入

当該年度を記入して下さい。

3. 事業所名欄の記入

奈良県内で適正計量管理事業所の指定を受けている事業所名を記入して下さい。

指定を受けている事業所が県内に2カ所以上ある場合は、事業所（店舗）ごとに報告書を作成して下さい。

（※報告書はコピーしてご記入して下さい。）

4. 事業所の所在地欄の記入

3で記入した事業所の所在地を記入して下さい。

5. 特定計量器の種類欄の記入

計量管理を行う計量士が検査を行った特定計量器の名称を記入して下さい。

特定計量器の名称については下表の「特定計量器の分類」欄に記載されている名称の中から該当するものを記入して下さい。

種別	特定計量器の分類
質量計	電気式はかり（自動はかりを除く） 手動天びん 等比皿手動はかり 棒はかり その他の手動はかり ばね式指示はかり 手動指示併用はかり その他の指示はかり ホッパースケール 充填用自動はかり コンベヤスケール 自動捕捉式はかり その他の自動はかり 分銅 定量おもり 定量増おもり 自重計
温度計	ガラス製体温計 その他のガラス製温度計 抵抗体温計
アネロイド型圧力計	アネロイド型血圧計 アネロイド型血圧計以外のアネロイド型圧力計
体積計	水道メーター（口径40mm以下） 水道メーター（口径40mm超） 温水メーター 自動車等給油メーター 小型車載燃料油メーター 大型車載燃料油メーター 簡易燃料油メーター 微流量燃料油メーター 定置燃料油メーター 液化石油ガスメーター 都市ガス用メーター（使用最大流量6立方メートル毎時以下） 都市ガス用メーター（使用最大流量6立方メートル毎時超） 石油ガス用メーター（使用最大流量2.5立方メートル毎時以下） 石油ガス用メーター（使用最大流量2.5立方メートル毎時超） 排ガス積算体積計 排水積算体積計 量器用尺付タンク（自動車搭載式）

6. 使用する特定計量器の数欄の記入

事業所内で使用している特定計量器の数を、特定計量器の名称（5の分類）ごとに記入して下さい。

7. 検査を行った特定計量器の数欄の記入

6で記入した特定計量器の中で、当該年度に検査を行った特定計量器の数を記入して下さい。ただし、計量証明事業の登録を受けている事業所で、計量証明に使用している特定計量器の検査は除いて下さい。

8. 合格しなかった特定計量器の数欄の記入

7で記入した検査を行った特定計量器の中で、検査に不合格となった数を記入して下さい。

以降の欄は計量証明事業の登録を受けた事業所で、適正計量管理事業所の指定を受けている事業所の方のみ記入して下さい。

9. 計量証明に使用する特定計量器の数欄の記入

計量証明事業の登録を受けた事業所で、計量証明に使用している特定計量器の数を記入して下さい。

10. 計量法第116条第2項の規定による検査を行った特定計量器の数欄の記入

9で記入した特定計量器の中で、当該年度に検査を行った特定計量器の数を記入して下さい。

11. 同検査に合格しなかった特定計量器の数欄の記入

10で記入した検査を行った特定計量器の中で、検査に不合格となった数を記入して下さい。